

祝 辞

琉球大学同窓会の創立60周年の佳節を寿ぎ、心からお祝いを申し上げます。
1954年12月の設立以来、初代の和気政雄会長から現在の幸喜徳子会長まで、歴代の会長様及び副会長様、事務局長様、各支部の役員の皆様、並びに会員・卒業生の皆様の献身的な活動と母校を思うお気持ちがあつて、60年という重みのある輝かしい歴史を刻んできた今日の琉大同窓会が存在すると確信いたしております。改めて、関係の皆様方に心からの祝意とお礼を申し上げます。

琉球大学同窓会は、これまで毎年、学生の課外活動支援金として多額のご寄付をしていただいたり、教員候補者選考試験対策講座を開講していただくなど、後輩の育成に大きなお力添えを頂戴しております。また、開学50周年や60周年の節目の際には、記念事業へ多額のご寄付をいただきました。これまでの琉大同窓会の本学に対する物心両面にわたる多大なるご支援に対し、厚く感謝を申し上げます。

琉球大学は、65年前の1950年5月22日に開学いたしました。戦後、荒廃した沖縄の復興に必要なのは人づくりであるという考えから、「この沖縄の地に高等教育を」という地域の人々や海外の県系人の熱望によって、本学は設立されました。この経緯は、他の国立大学にない特徴的なものであり、それを基点として草創期からこれまで「ランド・グラント・ユニバーシティ」、すなわち、地域に貢献する大学としての使命を果たすべく、人材育成はもちろんのこと、教育・研究の成果を地域社会に還元し、多様な社会経済・文化の発展に寄与するために、地域と連携して取り組んで参りました。

1951年度から2014年度までの本学の学部、短期大学部、大学院、専攻科の正規課程及び短期課程を卒業・修了した学生の総数は、76,423人に上ります。7万6千人を超える本学の卒業生・修了生は、県内はもちろん、国内及び世界の各界各層で活躍いたしております。同窓生の皆様は本学の宝であり、それぞれの地域社会・国際社会でのご活躍は、母校や後輩にとってたいへん大きな誇りであります。

今後とも、琉球大学は、沖縄県唯一の総合大学として、ランド・グラント・ユニバーシティの理念のもと、地域との共生・協働によって、「地域とともに豊かな未来社会をデザインする大学」を目指すとともに、本学の強みを発揮し、新しい学術領域である熱帯島嶼・海洋・医学研究の国際拠点として「アジア・太

平洋地域の卓越した教育研究拠点となる大学」を目指して進んで参ります。

本学はこれまで以上に、国際的に活躍できるイノベーティブな人材を地域社会及び国際社会に輩出するとともに、学び直しの機会を拡充して地域社会で活躍しリードする人材の強化や高度化にも尽力して参ります。本学の同窓生が、行政、産業界、教育界、医療界、法曹界などと連携して、多様な社会経済と文化の発展に寄与する活動を行い、アジア・太平洋域における「知の津梁（学知の架け橋）」としての役割を存分に発揮する有為なグローバル人材として、豊かな地域社会を創りあげていく。それこそが、同窓会の皆様と本学がともに希求する願いであり、果たさなければならぬ責務であると認識いたしております。

そもそも同窓会は、〔大学－同窓－個人〕が三位一体となって学舎を共有していることが中心核として支配している概念です。今年度も11月14日にホームカミングデーを企画いたします。会場で多くの卒業生の皆様と再会できることを心待ちいたしております。

同窓会は、過去を共有するだけでなく、未来も共有するものであってほしいと願っています。琉球大学の創立百周年は2050年です。創立百周年の輝かしい未来へ向かって、同窓生皆々様の益々のご健勝とご多幸、並びに琉球大学同窓会の限りないご発展を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。本日は誠におめでとうございます。

2015年7月11日

国立大学法人琉球大学
第16代学長 大城 肇